

会員各位

令和3年（2021年）12月22日

つくばスマートシティ協議会

議案書

会長より以下の議案について提案がありましたので、審議をお願いいたします。

令和3年度第2回臨時総会

決議事項

第1号議案

「令和3年度事業計画の変更について」

第2号議案

「令和3年度収支予算の変更について」

第3号議案

「情報連携システム基盤等整備事業（データ連携基盤整備プロジェクト）の
実施について」

【第1号議案】

令和3年度事業計画の変更について

このことについて、添付資料のとおり変更することについて審議願いたい。

資料1 令和3年度事業計画書（案）

（変更内容の概要）

令和3年度国土交通省スマートシティモデルプロジェクトに選定されたことから、事業計画の変更を行うものです。

④ 令和3年度国土交通省スマートシティモデルプロジェクト スマート・コミュニティ・モビリティ実証調査（つくば医療 MaaS）

AI デマンドタクシーと院内自動走行モビリティの連携や生体認証技術の活用により、一連の病院受診に係る交通弱者の利便性向上と医療従事者の負担軽減に関する効果の検証を行う。

【第2号議案】

令和3年度収支予算の変更について

このことについて、添付資料のとおり変更することについて審議願いたい。

資料2 令和3年度収支予算（案）

（変更内容の概要）

令和3年度国土交通省スマートシティモデルプロジェクトに選定されたことから、一般会計収支予算の変更を行うものです。

収入及び支出予算を、23,339,998円増額し、57,288,049円とする。

【主な収入内訳】

令和3年度国土交通省スマートシティモデル事業事業費収入	14,989,998円
令和3年度国土交通省スマートシティモデル事業地域負担金	8,350,000円

【主な支出内訳】

令和3年度国土交通省スマートシティモデル事業事業費	23,173,040円
---------------------------	-------------

【第3号議案】

情報連携システム等基盤整備事業（データ連携基盤整備プロジェクト）の実施について

このことについて、添付資料のとおり実施することについて審議願いたい。

資料3 情報連携システム等基盤整備事業（データ連携基盤整備プロジェクト）
実施計画書

（審議内容の概要）

事業計画「(2) 情報連携システム基盤等整備事業」のうち、情報連携システム基盤の整備について、以下のとおりプロポーザルを実施してとりまとめた実施計画のとおり実施するものです。

- | | |
|----------|--|
| 11/10（水） | データ連携基盤分科会の会員に対して情報連携システム基盤の整備事業者の募集開始 |
| 11/15（月） | データ連携基盤分科会（オンライン）を開催
（資料説明及び質疑応答） |
| 11/24（水） | 提案書の提出締切日
（参加表明：2社、提案書の提出者：1社） |
| 11/29（月） | 幹事会（茨城県、筑波大学、つくば市）による候補者の審査 |
| 12/1（水） | 候補者の内定 |

令和3年度事業計画（案）

1 活動方針

本協議会の目的達成のため、次のとおり活動を展開する。

- (1) スマートシティ実現に向けて、社会実装を見据えた実証実験の取組を実施する。
- (2) 分野横断的に様々なデータの利活用を図るための情報連携システム基盤の構築に向けた検討及び整備を実施する。
- (3) スマートシティ実現に向けて、必要な取組に対して会員機関が相互に知見を出し合い、協力、連携する。

2 事業計画

(1) 実証事業

- ① 令和元年度補正予算事業国土交通省スマートシティモデル事業（令和2年度第4回臨時総会議決事項）

顔認証技術による公共交通バスの乗車と移動先サービスの統合に係る実証実験

最先端の研究機関が集積する研究学園都市の特長を生かし、立地する研究施設を巡る路線バス「つくばサイエンスツアーバス」において実証実験を実施する。

人の生理系とモビリティが一体化されたサイバニックモビリティの屋内外走行実験

サイバニックモビリティによる交通移動弱者の安全な移動支援の実現に向けた屋内外走行実験を実施する。

- ② 令和2年度国土交通省スマートシティモデル事業（令和2年度第4回臨時総会議決事項）

人の移動の流れの促進するスマート・コミュニティ・モビリティに係る実証実験

交通空白地帯の解決、交通弱者を含む方々に対する持続可能な地域交通網の構築に向け、安心・安全なモビリティ提供に係る走行実証を実施する。

- ③ 令和2年度補正予算事業国土交通省スマートシティモデル事業

交通移動弱者の「行政施設や商業施設の利用といった実際の市民生活に付随した屋内外の移動」を安全かつスムーズに支援することの実現可能性を実証する。

- ④ 令和3年度国土交通省スマートシティモデルプロジェクト

スマート・コミュニティ・モビリティ実証調査（つくば医療 MaaS）

AI デマンドタクシーと院内自動走行モビリティの連携や生体認証技術の活用により、一連の病院受診に係る交通弱者の利便性向上と医療従事者の負担軽減に関する効果の検証を行う。

(2) 情報連携システム等基盤整備事業（令和2年度第4回臨時総会議決事項）

「政府スマートシティ関連事業における共通方針」に掲げられているとおり、スマートシティ事業を進めるにあたっては、都市内における課題分野、実施サービス分野をまたがるデータ連携を可能とし、また都市間におけるデータの相互運用性を担保することが求められている。さらに、新型コロナウイルス禍を受けた「新しい

生活様式」への転換の観点から、感染症に対する対応として都市のDX（デジタルトランスフォーメーション）の加速化を図っていくことが急務である。このような状況を受け、分野横断的に様々なデータの利活用を図るための情報連携システム基盤と、利用者との接点となるポータルサイトアプリを整備する。

（３）協議会運営

① 分科会の開催

つくば市が抱える地域課題の解決や茨城県をけん引する都市づくりを実現するスマートシティプロジェクトの具体化を図り、内閣府「スーパーシティ構想」、政府スマートシティ関連事業を活用してプロジェクトを推進する

② 情報収集・共有

他地域におけるスマートシティの動向、スマートシティ化に資する最新技術など、会員間での情報収集・共有を図る。

（４）その他

その他本協議会の目的達成に必要な事業を実施する。

令和3年度 つくばスマートシティ協議会 変更予算(案)【一般会計】

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	備考
事業費 収入	38,387,997	令和元年度補正予算事業国土交通省スマートシティモデル事業 9,999,000円 (地域負担なし) 令和2年度国土交通省スマートシティモデル事業 8,899,999円 (地域負担1/2以上) ※ 地域負担金 15,315,011円 (茨城県、つくば市、筑波大学、KDDI株式会社) 令和2年度補正予算事業国土交通省スマートシティモデル事業 4,499,000円 (地域負担1/2以上) ※ 地域負担金 4,506,304円(CYBERDYNE株式会社) 令和3年度国土交通省スマートシティモデル事業 14,989,998円(地域負担1/2以上) ※ 地域負担金 19,008,000円 (KDDI株式会社、株式会社KDDI総合研究所、日本電気株式会社、 三菱電機株式会社、WHILL株式会社)
事業費 負担金 収入	8,350,000	令和3年度国土交通省スマートシティモデルプロジェクト 3,000,000円 (茨城県) 3,000,000円 (つくば市) 2,350,000円 (筑波大学)
前年度 繰越金	10,550,052	令和2年度国土交通省スマートシティモデル事業地域負担金 10,531,501円 (内訳) 1,531,501円 (茨城県) 3,000,000円 (つくば市) 2,000,000円 (筑波大学) 4,000,000円 (KDDI株式会社) その他前年度繰越金 18,551円
合計	57,288,049	

2. 支出の部

科目	予算額	備考
事業費	57,102,540	令和元年度補正予算事業国土交通省スマートシティモデル事業 9,999,000円 (総事業費:9,999,000円) 令和2年度国土交通省スマートシティモデル事業 19,431,500円 (総事業費:24,215,010円、 内協議会会員直接執行額:4,783,510円 (筑波大学、KDDI株式会社が負担)) 令和2年度補正予算事業国土交通省スマートシティモデル事業 4,499,000円 (総事業費:9,005,304円) (CYBERDYNE株式会社へ分配) 令和3年度国土交通省スマートシティモデル事業 23,173,040円(総事業費:42,253,640円) (KDDI株式会社 4,671,040円 株式会社KDDI総合研究所 5,940,000円 日本電気株式会社 7,227,000円 三菱電機株式会社 3,740,000円 WHILL株式会社 1,595,000円 へ分配)
事務費	185,509	事務用消耗品、収入印紙、切手等購入費 振込手数料 令和3年度国土交通省スマートシティモデル事業に係る広報等の事務費
合計	57,288,049	